

巻頭言

心理学部2年目の現状

跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科
学部長 野島 一彦

心理学部は、2018年度にスタートして2年目となりました。公認心理師の正規ルートの養成の2年目でもありました。学部の臨床心理学科では、前期課程(1年生・2年生)における公認心理師対応科目の履修が順調に行われてきました。次年度から、後期課程(3年生・4年生)の3年生は、いよいよ公認心理師対応のための「心理実習(90時間以上)に行きます。従来の「カウンセリング実習」をベースにした教育分野と新たに開拓した医療分野での実習となります。その準備がとても大変でした。

大学院の臨床心理学専攻では、この2年間で公認心理師対応の科目の履修が順調に行われてきました。ただ、「心理実践実習」(450時間以上：担当ケースに関する実習時間は270時間でうち学外の施設での実習時間は90時間以上)は、とても苦勞しました。従来の医療分野と従来の「カウンセリング実習」をベースにした教育分野でなんとか実習を行ってきました。公認心理師対応だけでも大変なのですが、本専攻は臨床心理士の養成も行っており、いわばダブル資格の教育を行いますので、かなり厳しい状況でした。

教員組織は、前年度末に中野敬子先生が定年退職になられましたが、補充が行われませんでした。前年度末に依願退職をされました伊澤成男先生の後任には、小栗貴弘先生が着任されました。現在の本学部の教員数は10名となっています。年齢構成はミドルの先生が5名、シニアの先生が5名です。また男性教員が5名、女性教員が5名です。本学部の殆どの先生は担当授業数が他学部の先生よりかなり多くオーバーワークの状態ですが、教育・研究・臨床に熱心に取り組まれています。

年度末には新型コロナウイルスの感染問題が起こり、2月27日に予定されておりました恒例の卒業論文ポスター発表会が中止となりました。また3月10日に予定されておりました修士論文発表会が中止になりました。さらに3月15日に予定されておりました5大学院合同事例検討会も9月以降に延期となりました。そして3月18日に予定されておりました卒業式、修了式も中止、3月19日に予定されていた謝恩会も中止となりました。2011年の東日本大震災以来の諸行事中止となりました。

私事ですが2019年6月には、野島が①学会への貢献と②エンカウンター・グループを始めとする学術的功績を理由に、日本心理臨床学会学会賞を受賞しました。